

「防災雑話」

大阪建築防災センター 荒井 清

はじめに

防災と一言で云っても、建築物の構造面での安全性、また風水害や火災からの安全性、その他各種建材・塗料・部材の耐力・耐熱性能等などと、非常に多岐にわたります。

従って、私の話は防災に関する経験上の雑話をさせて頂き、その中から各位の関心がある部分で、お仕事に役立つヒントを拾って頂ければ幸いです。

防災雑話

1) 防災の再考

- ・ 消防の本命は火消しではない
- ・ 平和ボケで防災対応が出来るのか
- ・ 防災の基本は「常に備える」こと
- ・ ガキ大将有用論

2) 皆様の備えは如何ですか

- ・ 今こそ原点に立ち戻って、防災の備えを！！

3) 備えには五感も

- ・ リスク回避には、五感も必要

4) 都市災害で気になること

- ・ 最も恐ろしい、津波による浸水
- ・ ビル街はガラスの雨を考える必要がある

5) 断層と建築物の揺れ

- ・ 地震動には、震度だけでなく揺れの長さも問題

- 6) 都心難民の問題
 - ・大阪でも100～150万人が取り残される
 - ・手付かずに、都心難民対策
- 7) 被害調査はどちらを調べるか
 - ・壊れたものの調査か、壊れなかったものの調査か
- 8) 屋上設置機器の架台についての回想
 - ・架台は単に機器が載れば良いものではない
 - ・地震の水平力に耐える固定が必要
- 9) 防災の「災」の字を考える
 - ・昔から災害の第一は火災
 - ・火を出さない、火が付いても燃え上がらない建材が必要
- 10) 進まない木造住宅の耐震改修、その他
 - ・全住宅の1/3程度は耐震性能が不足では
 - ・対応の難しさや、費用の問題が難点
 - 内閣府の全国揺れマップ/ジオダスの軟弱地盤マップ
 - 防災科学技術研究所の500mグリッドの地形分類データ
 - 明治18年作成の、陸地測量部作成の近畿近傍図1/25,000
 - ・近くに川があったり、谷筋の場合は要注意
 - ・円山川は日本一緩勾配の河川だった
 - ・幼児期の原体験は、生涯身から離れない
- 11) 補足として、一般的な住宅の耐震対策として
 - ・屋根の荷重を先ず軽減せよ
 - ・2階にある重い家具や書籍等は下ろせ
 - ・寝室の家具や什器の転倒防止対策を考えた
 - ・その後、軸組みの金物補強や、壁の補強や追加を考えた
 - ・素人でもチェックできる、面白ソフトの紹介